

わがまちまごめ

馬込管内世帯人口数
(令和7年7月1日時点)

- ・世帯数 32,444
- ・人口(男) 28,391
- ・人口(女) 29,535
- ・人口(計) 57,926

発行 地域力推進馬込地区委員会
事務局 馬込特別出張所
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5
☎(3774)3301(代)
ホームページアドレス(大田区役所大森地域)
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

回覧板に愛の手を

— 地域情報の大事な運び役 —

回覧

♪ トントントンカラリと隣組
格子を開ければ 顔なじみ
回してちょうだい 回覧板
知らせられたり 知らせたり ♪

昔、回覧板の出でくるこんな歌がありました。昭和15年(1940年)に、NHK「国民歌謡」として、ラジオから流され、この歌を主題歌とした映画も作られたようです。当時の日本は中国と戦争中で、ヨーロッパでは第二次世界大戦も始まっていた。

戦時中、回覧板は、政府の政策や国家高揚伝達の道具として使われましたが、情報の乏しいこの時代、生活用品の配布(配給)などを知る唯一の手がかりでもあり、市民生活に欠かせないものでした。

〇さて、現代の回覧板は——
歌のように、お隣さん同士が手渡しで回す機会は少なくなりました。「回覧板を持つて行ったら話が弾んで、つい長居しちゃった」などという話は、現在ではあまり聞かれません。回覧板の受け渡しで近隣同士が顔を合わせていた、漫画「サザエさん」に出てくるような触れ合いの時間は、もうなくなつてしまったのでしょうか。私たち住民の大事なひとときだったように思われてなりません。

今、私たちの住む馬込でも、地域に

よつては、近隣同士、顔を合わせる機会が少なくなりました。

共働きの家庭では、日中不在となることも多いでしょうし、昔に比べて近隣の商店がないこともあつて、買い物時に顔を合わせる機会も少なくなりました。

平成から令和の時代へと移る中で、馬込の町の様子も変わり、新型コロナウィルス禍にも襲われました。建物や住人が増えてゆき、生活のスタイルも変化しました。周囲に関わりたくない思いをもつ人もいることでしょう。現代の生活では、お互いの配慮の必要なことなのかもしれません。

〇生活情報が詰まっています

回覧板には、清掃事務所からのゴミや資源回収、粗大ゴミや不要衣類回収のお知らせや、警察・防犯協会からの詐欺防止や空き巣・ひったくり被害への注意喚起、消防署からの防火や救急についてのお知らせなど、毎日の生活



地域行事の「馬込大盆踊り大会」

に直結した情報が入ってきます。

また、地域のお祭りや盆踊り、もちつき大会や子ども会のお知らせなど、回覧板でなくては見ることはできない情報があります。春の行事の「馬込文士村大桜まつり」の催し物や、会場近くの交通規制案内もその一つです。

地域の自治会・町会からの行事のお知らせも重要です。「わが家はあまり参加していないから」と見過ごす方もいるようですが、地震・火災などの防災情報や防犯関係情報、地域の防災訓練など、大事な印刷物が多く回つてきます。特に学校に通っているお子さんと直結しているものもあるので、お見逃しなごう。

〇雨には弱い回覧板



雨の中、お留守のお宅に届ける時、回覧板がスッポリ入る大きなポストをお備えのお宅ならいいのですが、そんなことは滅多にありません。なんとか雨をしのげる物陰にとご苦労なさる方は多いことと思います。

あちこちの町会で、皆さん、大きなビニール袋に入れたり、プラスチックのケースなどを使って、濡らさない工夫をされているようです。

もともと手渡しが普通の状態で、雨は想定外の回覧板ゆえ、回覧物も板も紙製なのが当たり前で続けられてきました。近年、大田区も折りたたんでポストの口に入るような回覧板を作ってくれています。これでも入らないポストも多く、皆さん、苦労をされています。

〇多くの手で回覧板は回ります



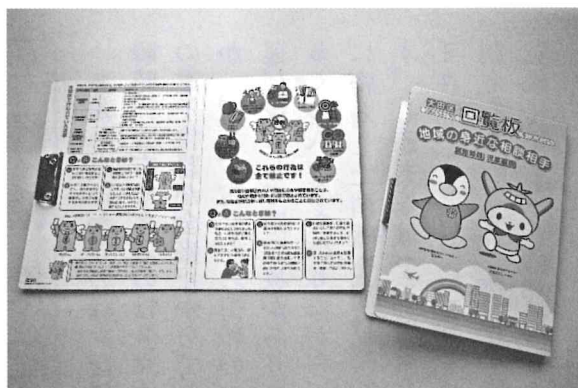
自分の家に回覧板が来た時、また次へと回す時、お隣の方の顔が浮かぶ

ことと思います。近隣同士の触れ合いを深める第一歩です。近隣所の顔のつながりこそ、住みよい地域づくりへの大事な土台になります。

同時に、回つてきた回覧板の後ろに隠れている多くの手にも、心を向けてください。町会に回覧となる印刷物を届けてくれる手、町会の中で各部ごとに回覧物を仕分けして、部長さんのお宅へ届けてくれる手、そこからさらに仕分けて、各班の班長・当番さんのもとへ届けてくれる手、班長・当番さんが、班の最初のお宅へと届けてくれて回覧が始まります。

この「わがまちまごめ」も、そのようにして各戸配布で、お手元に届きます。

昔のような町のかたちや、住民同士のお付き合いの姿とはならないしろ、歴史を経て今日まで続く回覧板です。もつとも身近なお知らせ手段としてだけでなく、近隣所をつなぐ役割もまだまだけなげに果たしてくれています。皆さん、どうぞ回覧板に皆さんの愛の手を添えてあげてください！



折りたたみ式の回覧板

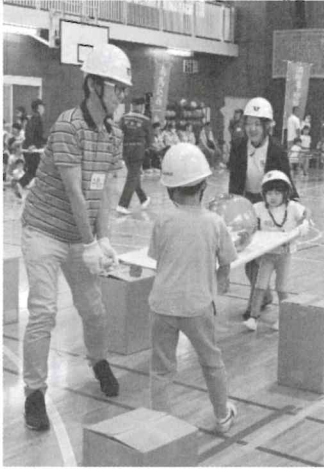
防災運動会にチャレンジ!

梅田小学校防災訓練



今年の三町会(白田坂親和会・南馬込中和会・南馬込西一会)合同防災訓練はこれまでと趣向を変えて「防災運動会」のキャッチフレーズで、6月15日(日)に梅田小学校で実施されました。消火器操作、バケツリレー、担架搬送など防災訓練としての本質を保ちながら内容にゲーム的な楽しさを加えたそうです。

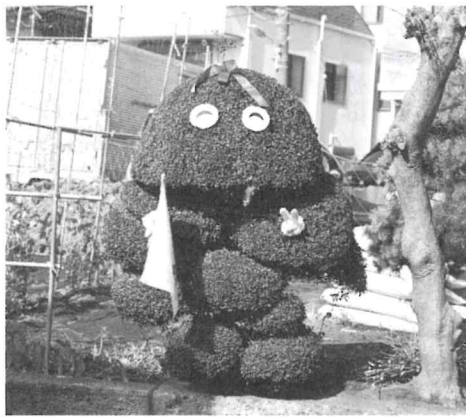
訓練当日は前夜の雨で校庭が使えず体育館での開催となりましたが参加者は総勢で160名を超え、お子さんの参加も例年より多い印象でした。あるお母さんから参加のきっかけはキャッチフレーズにあると伺った際にそのお子さんから「楽しかった!」のひとことがありました。防災運動会のねらいが子育て世代にもアピールできたことが感じられる場面でした。



笑顔で見守る

ハッピーちゃん

中馬込宮ノ下町会の波田野^{あつし}さんの畑の道路際に今年から現われた、柘^{つげ}植の木で作られた大きな緑のハッピーちゃん。



淳さんが毎年きれいに刈り込んで作られた柘植の木を見た町会の遊び心一杯の人が、ドラえもんみたいな木を見て、目(発泡スチロール)手(軍手)を付け、頭に一本の枝を残しリボンを結び、右手には黄色い交通安全の旗を持たせ左手にはVサイン!

最初はちょっと驚いた人もいましたが、学校帰りの小学生はハッピーちゃんに向って何やら声をかけていたので、「何を話していたの?」と聞いたところ「ただいま」と言ったとのこと。学校帰りの一年生が会話をしているのを知り、びつくりと同時に製作者は、ほのぼのとした気持ちになりました。

半年が経ち、通学している子ども達はもちろん、駅へ向かう人達にもだいたい慣れ親しまれてきました。まだ会っていない方も、一度散歩がてらに会いに来ませんか。きっと気持ち

馬込情報

だ会っていない方も、一度散歩がてらに会いに来ませんか。きっと気持ち

◎町会長の交代

北馬込二丁目天沼町会

高瀬幸男氏から中村勝利氏へ

◎大森消防団操法大会 6/8 (日)

◎貝塚中学校防災訓練 6/15 (日)

◎馬込東中学校防災訓練 7/5 (土)

◎自治会町会永年在職者感謝状贈呈

7/10 (木) 馬込特別出張所にて



◎北野青年会盆踊り大会 7/12 (土)

◎第30回馬込大盆踊り大会 7/26 (土)

7/27 (日)

◎二本木町会盆踊り大会 8/2 (土)

◎西一会盆踊り大会 8/22 (金) 8/23 (土)

◎馬込小学校防災訓練 8/23 (土)

◎八幡神社例大祭 9/13 (土) 9/14 (日)

◎第31回まごめ幸陽祭(まごめ園)

9/27 (土)

◎第40回南馬込文化センターまつり
コーラス、フラダンス、演奏や茶道
などを通し、様々な文化にふれつつ、

地域の方々と交流をしてみませんか。ちぎり絵、小物作り、ペットボトルキャップケーキや、スポーツチャンバラなど多彩な体験をお楽しみください。

●10月19日(日) 10時~16時
詳細はお問い合わせください。
TEL (3771) 8481

◎自治会町会正副会長への感謝状贈呈 10/23 (木)

◎馬込第二小学校防災訓練 10/25 (土)

◎第46回馬込文化センターまつり
活動サークルが日頃の練習の成果を発表し、地域の方々との交流を図ります。恒例の地域の方々による作品の展示も行います。ご来場をお待ちしています。

●11月8日(土)・9日(日)
11時~16時

☆地域の皆様の作品を募集します
絵画・書道・短歌・俳句・手作り小物などの作品を募集します。

9月8日(月) 10時より馬込文化センターで受付を開始します。詳細はお問い合わせ下さい。
TEL (3775) 1370

◎馬込第三小学校防災訓練 11/16 (日)

◎馬込中学校防災訓練 11/22 (土)

◎龍子記念館 (TEL 3772・0680)

●名作展「時局と画家 川端龍子の1930~40年代」7月12日(土)~9月21日(日)

●川端龍子生誕140年特別展「川合玉堂と川端龍子」10月11日(土)~11月9日(日)

◎熊谷恒子記念館 (TEL 3773・0123)

かなの美展「熊谷恒子と三大随筆―『枕草子』『徒然草』『方丈記』を中心に」7月19日(土)~12月7日(日)

◎馬込図書館 (TEL 3775・5401)

●「親子で楽しむデジタル絵本教室」10月11日(土) 時間未定。絵や写真を使いタブレットでお話を作ります。対象は小学生と保護者。

●「馬込文士村散歩」11月16日(日) 予定。

●「大人のための朗読会」11月29日(土) 13時半~15時。

◎郷土博物館 (TEL 3777・1070)

●企画展「高橋松亭×川瀬巴水―日本の技と美―」10月7日(火)~11月24日(月)

●特集展示「新発見!『多摩川台古墳分布図』を読む」7月1日(火)~9月28日(日)

●特集展示「戦争と芸術家―川瀬巴水・矢島甲子太郎・安西啓明の場合―」7月8日(火)~9月28日(日)

●特集展示「文化財写真パネル展」
●特集展示「ミニ装飾品展(仮)」
10月7日(火)~1月12日(月)

編集後記

あふれんばかりの様々な情報を瞬時に共有できるのはスマホなどの電子機器が全盛だからでしょう。でも、古くから情報の大事な運び役として回覧板があります。多くの人の手を借りながら、生活に密着した情報を届けてくれます。しかも地域や近所隣りのコミュニケーションづくりを担う役割もあるのです。機器にも勝る回覧板に拍手!